

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 12 日 (2021.8.12)

【公表番号】特表 2020-533074 (P2020-533074A)

【公表日】令和 2 年 11 月 19 日 (2020.11.19)

【年通号数】公開・登録公報 2020-047

【出願番号】特願 2020-513791 (P2020-513791)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

A 6 1 B 18/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/56

A 6 1 B 18/12

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 23 日 (2021.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外科用マルチツール器具であって、
 本体と、
 前記本体に連結されたナビゲーションアレイと、
 前記本体に選択的に取り付け可能なハンドルと、
 前記本体を通じて互換的に挿入可能な 1 つ又は 2 つ以上の器具シャフトであって、
 鋭利な先端の針、又は、
 鈍い先端のマンドリン、を備える、1 つ又は 2 つ以上の器具シャフトと、を備える、
 外科用マルチツール器具。

【請求項 2】

前記本体の外部表面上に配置可能な 1 つ又は 2 つ以上の拡張器管を更に備える、請求項 1 に記載の器具。

【請求項 3】

前記拡張器管は、前記ナビゲーションアレイ上の前記拡張器管の通過を可能にするスロットを含む、請求項 2 に記載の器具。

【請求項 4】

前記 1 つ又は 2 つ以上の器具シャフトはエネルギー送達要素を備える、請求項 1 に記載の器具。

【請求項 5】

前記エネルギー送達要素はマイクロ波アブレーション要素を含む、請求項 4 に記載の器具。

【請求項 6】

前記 1 つ又は 2 つ以上の器具シャフトは、神経組織の存在、近接性、健康状態、又は他の属性を検出するためのセンサを備える、請求項 1 に記載の器具。

【請求項 7】

前記拡張器管の外部表面上に配置可能なアクセス装置を更に備え、前記アクセス装置は、外側シールドと、前記外側シールドの遠位端から突出する牽引表面を備えた内側シール

ドと、を有する、請求項 2 に記載の器具。

【請求項 8】

前記鋭利な先端の針又は前記鈍い先端のマンドリンのうちの少なくとも一方は、前記本体を通じて完全に挿入されると、前記本体から前記ハンドルが分離するのを防ぐように構成された、近位端部要素を含む、請求項 1 に記載の器具。

【請求項 9】

前記ハンドルは、それぞれの前記鋭利な先端の針又は前記鈍い先端のマンドリンが前記本体を通じて完全に挿入されると、遠位端部要素の少なくとも一部を露出するように構成されている、請求項 8 に記載の器具。

【請求項 10】

前記本体を通じて互換的に挿入可能な 2 つ又は 3 つ以上の器具シャフトを備え、前記 2 つ又は 3 つ以上の器具シャフトは、前記鋭利な先端の針、及び前記鈍い先端のマンドリンを備える、請求項 1 に記載の器具。